

2026年3月期第2四半期（中間期） 決算補足説明資料

京浜急行電鉄株式会社（証券コード：9006）

2025年11月10日

<https://www.keikyu.co.jp>

I . エグゼクティブ・サマリー	P. 4
II . 2026年3月期 第2四半期決算実績	P. 6
III . 2026年3月期 業績予想	P. 22

I . エグゼクティブ・サマリー	P. 4
II . 2026年3月期 第2四半期決算実績	P. 6
III . 2026年3月期 業績予想	P. 22

上期実績

- 対前年同期で**増収減益**。交通事業やレジャー・サービス事業が好調に推移したものの、前年同期の不動産事業用地の持分売却の反動が影響。
- 対前年同期で中間純利益は**増益**。品川駅西口基盤整備事業に基づく国道用地の譲渡により、固定資産売却益53億円を計上。
- 営業利益は期初予想から約20億円上振れているものの、費用期ずれを約10億円含むため、実質は約10億円の上振れ。

通期業績予想の修正内容

- 上期費用期ずれによる費用消化を織り込んだほか、下期の不動産事業を下方修正したことから、通期予想の営業利益修正幅は**+10億円**。
- 上期に発生した特別利益等を反映し、当期純利益は+77億円の上方修正。
- 当期純利益を上方修正したことから、配当性向40%の方針に基づき、**12円増配**し、**年間配当は46円に上方修正**。

	(単位：億円)						(単位：円)			
	上期実績			通期業績予想			配当予想			
	前年同期	今期実績	増減額	期初予想	修正予想	増減額	期初予想	修正予想	増減額	
営業収益	1,409	1,425	+16	3,050	3,000	△50	年間配当	34	46	+12
営業利益	190	185	△4	300	310	+10	中間配当	17	23	+6
経常利益	183	168	△14	245	260	+15	期末配当	17	23	+6
親会社株主に帰属する 中間・当期純利益	136	152	+15	233	310	+77	配当性向	40.1%	40.0%	-

I . エグゼクティブ・サマリー	P. 4
II . 2026年3月期 第2四半期決算実績	P. 6
III . 2026年3月期 業績予想	P. 22

(単位：百万円)

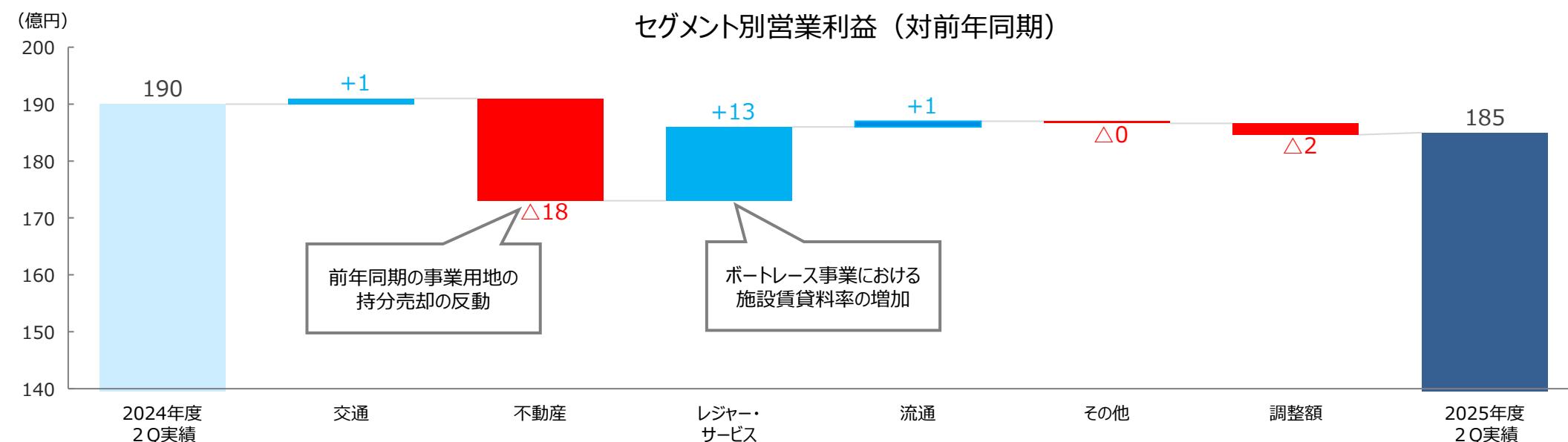
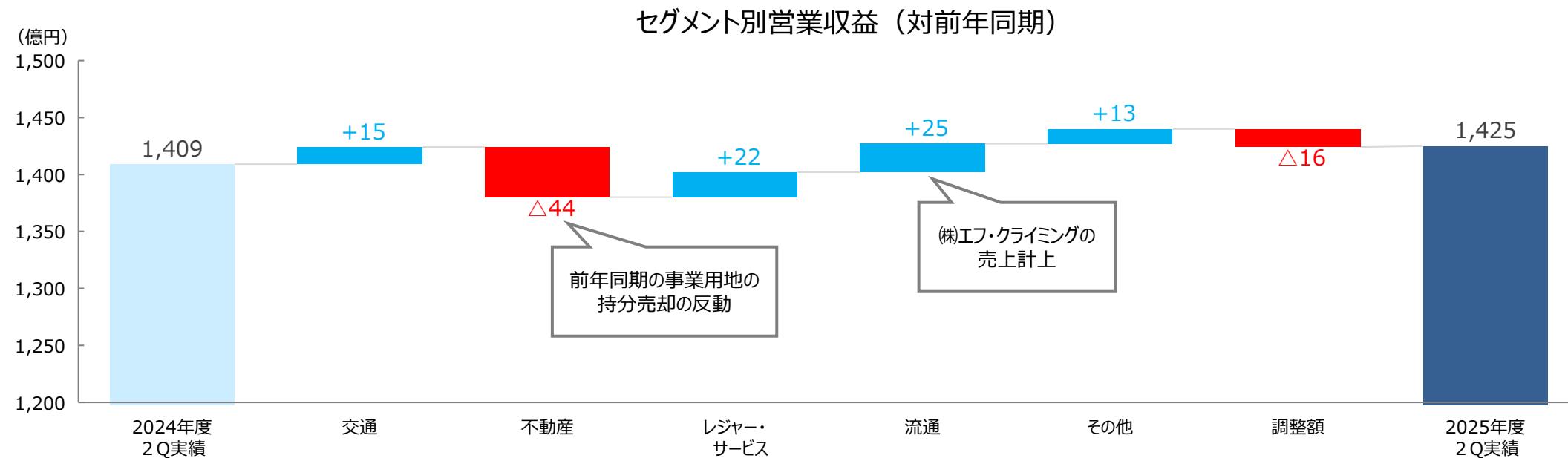
	2024年度 2Q実績	2025年度 2Q実績	増減額	増減率	上期予想	達成率
営業収益	140,957	142,565	+1,608	+1.1%	141,500	100.8%
営業利益	19,000	18,556	△444	△2.3%	16,500	112.5%
経常利益	18,333	16,888	△1,444	△7.9%	14,500	116.5%
親会社株主に帰属する 中間純利益	13,663	15,257	+1,593	+11.7%	9,000	169.5%

(単位：百万円)

	2024年度 2Q実績	2025年度 2Q実績	増減額	2024年度 2Q実績	2025年度 2Q実績
1株当たり 中間純利益	49.72円	56.22円	+6.50円	設備投資額 (うち、不動産流動化 SPC出資)	26,084 (6,700)
				減価償却費	32,609 (7,770)
					13,860
					13,956

(単位：百万円)

	2024年度 2Q実績	2025年度 2Q実績	増減額	増減率	上期予想	達成率
交 通 事 業	営業収益 59,346	60,943	+1,596	+2.7%	60,700	100.4%
	営業利益 11,704	11,862	+157	+1.3%	10,700	110.9%
不 動 産 事 業	営業収益 23,705	19,226	△4,478	△18.9%	20,700	92.9%
	営業利益 3,362	1,543	△1,819	△54.1%	2,100	73.5%
レ ジ ャ ー サ ー ビ ス 事 業	営業収益 15,114	17,335	+2,221	+14.7%	16,600	104.4%
	営業利益 2,279	3,584	+1,304	+57.2%	2,800	128.0%
流 通 事 業	営業収益 39,205	41,756	+2,550	+6.5%	41,400	100.9%
	営業利益 961	1,152	+191	+19.9%	650	177.3%
そ の 他	営業収益 16,987	18,346	+1,358	+8.0%	20,700	88.6%
	営業利益 547	497	△49	△9.1%	300	165.9%



【主な増減理由】

	対前年同期	対上期予想
営業収益	鉄道事業 : 移動需要の拡大および羽田空港輸送の好調による増 バス事業 : 一般路線（2025年3月）および空港・中距離路線（2025年7月・8月）での運賃改定による増	—
営業利益	—	鉄道事業 : 費用の期ずれ等による上振れ バス事業 : 燃料費・人件費の減少による上振れ

(単位：百万円)

	2024年度 2Q実績	2025年度 2Q実績	増減額	増減率	上期予想	達成率
営業収益	59,346	60,943	+1,596	+2.7%	60,700	100.4%
鉄道事業	41,862	42,913	+1,051	+2.5%		
バス事業	15,575	16,163	+588	+3.8%		
タクシ－事業	1,908	1,865	△42	△2.2%		
営業利益	11,704	11,862	+157	+1.3%	10,700	110.9%
鉄道事業	10,298	10,336	+38	+0.4%		
バス事業	1,476	1,624	+147	+10.0%		
タクシ－事業	△ 70	△ 99	△28	—		

<鉄道事業の輸送人員・旅客運輸収入の内訳>

(単位：千人)

(単位：百万人)

	輸送人員				輸送人員	
	2024年度 2Q実績	2025年度 2Q実績	増減数	増減率	上期予想	達成率
定期	116,179	118,167	+1,988	+1.7%	117	100.2%
定期外	107,821	111,614	+3,793	+3.5%	110	101.2%
合計	224,000	229,781	+5,781	+2.6%	228	100.7%

(単位：百万円)

(単位：億円)

	旅客運輸収入				旅客運輸収入	
	2024年度 2Q実績	2025年度 2Q実績	増減額	増減率	上期予想	達成率
定期	14,665	14,889	+223	+1.5%	149	99.7%
定期外	25,949	26,889	+939	+3.6%	264	101.6%
合計	40,615	41,778	+1,163	+2.9%	414	100.9%

<鉄道事業 輸送人員推移>



<鉄道事業 旅客運輸収入推移>



<鉄道事業 主な営業費>

(単位：百万円)

	2024年度 2Q実績	2025年度 2Q実績	増減額
人件費	9,293	9,815	+522
電気動力費	2,467	2,559	+91
修繕工事費	1,877	1,933	+55
固定資産除却費	252	222	△30
減価償却費	8,350	8,348	△2

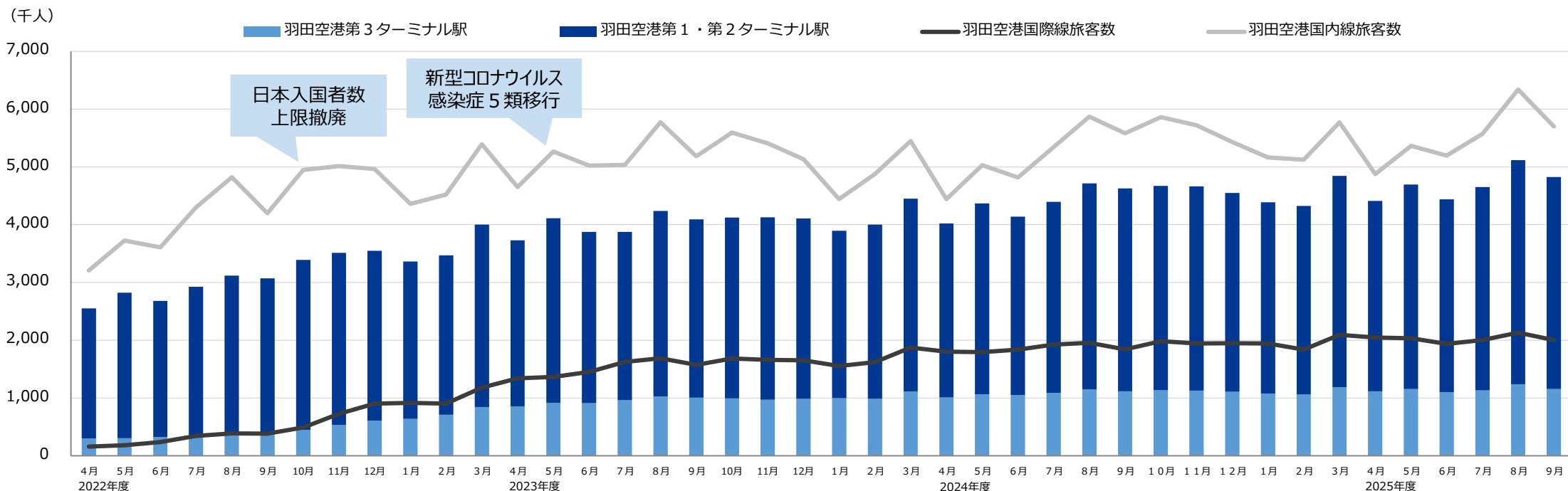
<羽田空港 2 駅の輸送人員>

(単位：千人)

(単位：百万人)

	輸送人員				輸送人員	
	2024年度 2Q実績	2025年度 2Q実績	増減数	増減率	上期予想	達成率
羽田空港 第1・第2ターミナル駅	19,785	21,242	+1,457	+7.4%	20	102.8%
羽田空港 第3ターミナル駅	6,484	6,901	+417	+6.4%	7	97.6%
合 計	26,269	28,143	+1,874	+7.1%	27	101.5%

<羽田空港 2 駅の月別輸送人員推移>



※羽田空港旅客数は以下から作成

・国土交通省 東京航空局「管内空港の利用状況」(<https://www.cab.mlit.go.jp/tcab/statistics/01.html>)・国土交通省 航空局「空港管理状況」(https://www.mlit.go.jp/koku/15_bf_000185.html)

【主な増減理由】

	対前年同期	対上期予想
営業収益	不動産販売業 : 前年同期の不動産事業用地の持分売却の反動により減 マンション分譲：174戸（対前年同期+152戸） 不動産賃貸業 : 横浜シンフォステージの稼働率上昇および新規賃貸マンションの稼働による増	不動産販売業 : 一部の物件でマンション販売戸数が想定を下回って推移
営業利益	不動産賃貸業 : 再開発用地の開業前賃借料および新規賃貸マンションの減価償却費等の計上による減	—

(単位：百万円)

	2024年度 2Q実績	2025年度 2Q実績	増減額	増減率	上期予想	達成率
営業収益	23,705	19,226	△4,478	△18.9%	20,700	92.9%
不動産販売業	14,137	9,038	△5,099	△36.1%		
不動産賃貸業	9,567	10,188	+620	+6.5%		
営業利益	3,362	1,543	△1,819	△54.1%	2,100	73.5%
不動産販売業	991	△772	△1,763	—		
不動産賃貸業	2,371	2,315	△55	△2.3%		

<不動産回転型ビジネスの進捗>

- 2026年度下期の私募リート組成に向けて、2025年10月、京急アセットマネジメント(株)に三井住友信託銀行(株)および三井住友トラスト不動産投資顧問(株)からの出資を受け入れ、京急SMTBアセットマネジメント(株)に商号変更を実施
- 遊休資産等の売却活動を実施
- 賃貸マンション計画用地の取得および不動産私募ファンドへの出資を実施

<2025年度の主な引渡し物件>

	当社シェア	総戸数	引渡し開始時期
①プライムパークス横浜並木ザ・レジデンス	60%	509戸	東敷地 2025年3月 西敷地 2025年5月
②プライム横須賀中央	100%	140戸	2025年6月 (全戸引渡し済)
③プライム東神奈川	100%	59戸	2026年3月
④パークタワー大森	50%	98戸	2026年3月 (全戸契約済)



【主な増減理由】

	対前年同期	対上期予想
営業収益	ビジネスホテル業 : 客室単価上昇 (+8.5%) による増 レジャー関連施設業 : ポートレース事業における施設賃貸料率の増加などによる増	ビジネスホテル業 : 客室単価・稼働率が予想を上回ったことによる上振れ レジャー関連施設業 : ポートレース事業における舟券売上の増加による上振れ
営業利益	ビジネスホテル業 : 客室単価上昇および前年同期の「京急 EX ホテル みなとみらい横浜」開業費の反動による増	-

(単位：百万円)

	2024年度 2Q実績	2025年度 2Q実績	増減額	増減率	上期予想	達成率
営業収益	15,114	17,335	+2,221	+14.7%	16,600	104.4%
ビジネスホテル業	4,771	5,213	+442	+9.3%		
レジャー関連施設業	5,769	6,939	+1,169	+20.3%		
レジャ－その他	4,574	5,183	+608	+13.3%		
営業利益	2,279	3,584	+1,304	+57.2%	2,800	128.0%
ビジネスホテル業	885	1,072	+187	+21.1%		
レジャー関連施設業	1,022	1,960	+938	+91.9%		
レジャ－その他	372	551	+178	+48.0%		

<京急 EX ホテル・京急 EX イン 客室稼働率>

	2024年度 2Q	2025年度 2Q	増減数
稼 働 率	87.2%	90.3%	+3.1pt.
	2025年 3月末	2025年 9月末	
客 室 数 (室)	2,398	2,398	

※既存館の改修による閉館分を含む稼働率は84.7%

※改装休業中の館
高輪（163室）：2025年5月～2026年2月（予定）
横浜駅東口（96室）：2025年9月～2026年2月（予定）

【主な増減理由】

	対前年同期	対上期予想				
営業収益	百貨店・SC業： 前年同期の百貨店業における外商売上の反動による減 ストア業： 前年4月に子会社化した(株)エフ・クライミングの売上計上、前期に開業したS M店舗およびC V S店舗の通年営業や既存店の客数好調による増	-				
営業利益	-	百貨店業： 専門店化の推進に伴う人件費の減少による上振れ				
	2024年度 2Q実績	2025年度 2Q実績	増減額	増減率	上期予想	達成率
営業収益	39,205	41,756	+2,550	+6.5%	41,400	100.9%
百貨店・SC業	8,179	8,073	△106	△1.3%		
百貨店業	6,200	5,759	△441	△7.1%		
SC業	1,979	2,314	+335	+16.9%		
ストア業	31,026	33,682	+2,656	+8.6%		
スーパー・マーケット業	23,726	26,239	+2,513	+10.6%		
コンビニ・物販業ほか	7,299	7,442	+142	+2.0%		
営業利益	961	1,152	+191	+19.9%	650	177.3%
百貨店・SC業	472	535	+63	+13.3%		
百貨店業	159	150	△9	△5.7%		
SC業	312	384	+72	+23.1%		
ストア業	489	617	+128	+26.2%		
スーパー・マーケット業	49	174	+124	+252.2%		
コンビニ・物販業ほか	439	443	+3	+0.7%		

【主な増減理由】

	対前年同期	対上期予想
営業収益	完成工事の増加による増	完成工事の減少による下振れ
営業利益	前期に(株)京急自動車学校の全株式を他社に譲渡したことによる減	建物総合管理事業の好調による上振れ

(単位：百万円)

	2024年度 2Q実績	2025年度 2Q実績	増減額	増減率	上期予想	進捗率
営業収益	16,987	18,346	+1,358	8.0%	20,700	88.6%
営業利益	547	497	△49	△9.1%	300	165.9%

2024・2025年度連結決算実績（四半期別）

KEIKYU

(単位：百万円)

	2024年度				2025年度		2Q対1Q	
	1Q (4月～6月)	2Q (7月～9月)	3Q (10月～12月)	4Q (1月～3月)	1Q (4月～6月)	2Q (7月～9月)		
交 通 事 業	営業収益	29,581	29,764	30,022	29,162	30,224	30,718	バス運賃改定（空港・中距離路線）が貢献
	営業利益	4,872	6,832	5,241	1,931	5,095	6,766	1Q計上した賞与の影響消失およびバスの運賃改定が貢献
不 動 産 事 業	営業収益	16,573	7,131	7,940	22,319	12,173	7,053	1Qにおける新築分譲マンション引渡し開始の反動による販売戸数の減（△150戸）
	営業利益	2,243	1,119	571	2,993	838	704	
レ ジ ャ - サ - ビ ス 事 業	営業収益	7,393	7,721	8,378	8,210	8,742	8,593	-
	営業利益	908	1,370	1,648	1,018	1,802	1,781	
流 通 事 業	営業収益	18,341	20,864	21,839	20,206	20,900	20,855	-
	営業利益	577	384	698	424	604	548	
そ の 他	営業収益	7,273	9,714	10,447	20,899	7,802	10,543	-
	営業利益	0	546	301	2,797	125	371	
営 業 収 益		72,860	68,097	70,228	82,674	73,118	69,446	
営 業 利 益		8,709	10,291	8,355	8,286	8,532	10,023	交通事業の増益が寄与
経 常 利 益		8,523	9,810	7,465	9,173	7,882	9,006	
親会社株主に帰属する四半期純利益		6,895	6,768	5,037	5,599	5,425	9,831	品川駅西口基盤整備事業に基づく国道用地の譲渡による特別利益の計上
鉄 道 輸 旅 収	定期	7,337	7,327	7,153	7,096	7,459	7,429	
	客 定 期 外	12,973	12,975	13,447	13,161	13,341	13,547	
	合 計	20,311	20,303	20,600	20,257	20,801	20,977	

(単位：百万円)

	2024年度 2Q実績	2025年度 2Q実績	増減額	主な内訳
営業外収益	1,440	1,362	△78	
営業外費用	2,107	3,029	+922	支払利息 2,622 (対前年同期 +601)
特別利益	171	5,972	+5,800	固定資産売却益 5,355 (対前年同期 +5,319)
特別損失	1,786	979	△806	固定資産除却損 329 (対前年同期 △689) 事業譲渡損 - (対前年同期 △423)

連結貸借対照表（概要）

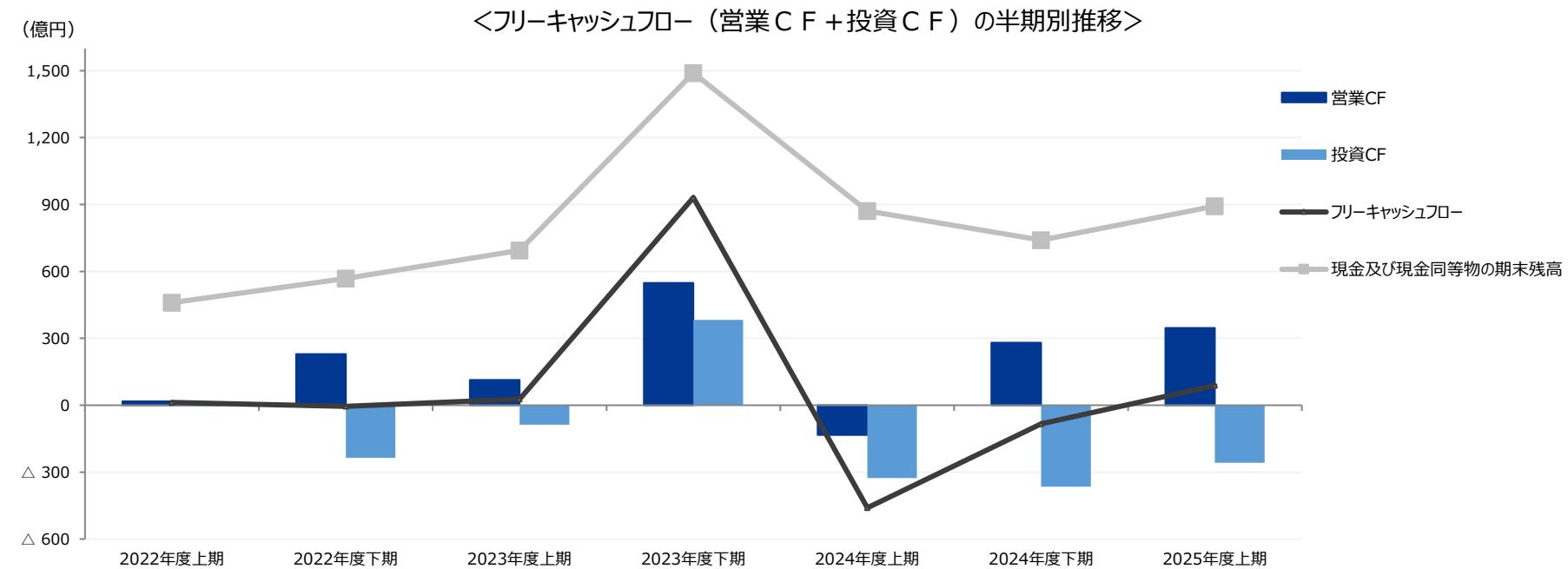
KEI KYU

(単位：百万円)

	2025年 3月末	2025年 9月末	増減額	主な増減理由
流動資産	191,544	191,799	+255	
現金及び預金	74,454	89,556	+15,101	現金及び預金： ・社債発行および法人税等の還付金
分譲土地建物	71,070	73,629	+2,558	
固定資産	848,164	870,290	+22,126	
有形固定資産	675,437	684,430	+8,993	
建設仮勘定	147,240	159,352	+12,111	建設仮勘定： ・品川駅付近連続立体交差事業の工事進捗
投資その他の資産	163,200	176,732	+13,531	
投資有価証券	114,136	128,264	+14,127	投資有価証券： ・保有銘柄の評価額の上昇
資産合計	1,039,708	1,062,089	+22,381	
負債合計	667,121	678,818	+11,696	
有利子負債残高（注）	474,299	495,572	+21,273	有利子負債残高：
純資産合計	372,587	383,271	+10,684	・社債発行
負債純資産合計	1,039,708	1,062,089	+22,381	
(注) 社債、借入金の合計額				
純有利子負債残高	399,844	406,016	+6,171	
自己資本比率	35.7%	36.0%	+0.3pt.	

(単位：百万円)

	2024年度 2Q実績	2025年度 2Q実績	増減額	主な増減理由
営業活動によるキャッシュ・フロー	△13,314	34,650	+47,964	法人税等の還付による増（前年同期は支払）
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,700	△25,874	+6,825	投資有価証券の償還・売却および固定資産の売却による増
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,327	6,598	+22,925	社債発行による増
現金及び現金同等物の増減額	△61,952	15,266	+77,219	
現金及び現金同等物の中間期末残高	87,120	89,273	+2,153	



I . エグゼクティブ・サマリー	P. 4
II . 2026年3月期 第2四半期決算実績	P. 6
III . 2026年3月期 業績予想	P. 22

- 上期営業利益は当初予想から+20億円上振れているものの、費用期ずれを織り込み、下期の不動産事業を下方修正したことから、
営業利益の修正幅は**+10億円**。
- 上期・下期の品川駅前の国道用地の売却を反映し、当期純利益の修正幅は**+77億円**。

(単位：億円)

	期初予想			修正予想			増減額 (通期)	増減率
	通期予想	上期予想	下期予想	通期予想	上期実績	下期予想		
営業収益	3,050	1,415	1,635	3,000	1,425	1,574	△50	△1.6%
営業利益	300	165	135	310	185	124	+10	+3.3%
経常利益	245	145	100	260	168	91	+15	+6.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	233	90	143	310	152	157	+77	+33.0%

(単位：億円)

【重要経営指標】

	期初予想	修正予想	増減額		期初予想	修正予想	増減額
設備投資額※ (うち、不動産流動化SPC出資)	1,421 (128)	1,271 (177)	△149 (+48)	R O E	6.2%	8.1%	+1.9pt.
減価償却費	294	292	△1				
1株当たり当期純利益	84.77円	114.92円	+30.15円				

※工事負担金等（期初予想178億円・修正予想165億円）を含む

(単位：億円)

	期初予想			修正予想			増減額 (通期) ③ - ①	増減額 (下期) ④ - ②	2024年度 ⑤	対前年 増減率 (③ - ⑤) / ⑤	
	通期予想 ①	上期予想	下期予想 ②	通期予想 ③	上期実績	下期予想 ④					
交通事業	営業収益	1,210	607	603	1,215	609	605	+5	+2	1,185	+2.5%
	営業利益	169	107	62	180	118	61	+11	△0	188	△4.7%
不動産事業	営業収益	557	207	350	497	192	304	△60	△45	539	△7.9%
	営業利益	61	21	40	48	15	32	△13	△7	69	△30.7%
レジヤー・ サービス事業	営業収益	327	166	161	332	173	158	+5	△2	317	+4.7%
	営業利益	37	28	9	45	35	9	+8	+0	49	△9.0%
流通事業	営業収益	848	414	434	842	417	424	△6	△9	812	+3.6%
	営業利益	17	6	10	19	11	7	+2	△3	20	△8.8%
その他	営業収益	527	207	320	542	183	358	+15	+38	483	+12.1%
	営業利益	24	3	21	26	4	21	+2	+0	36	△28.7%

(単位：億円)

	期初予想 ①	修正予想 ②	増減額 ② - ①	2024年度 ③	対前年増減率 (② - ③) / ③	予想修正理由
営業収益	1,210	1,215	+5	1,185	+2.5%	鉄道事業： 羽田空港輸送の好調による増
鉄道事業	855	860	+5	839	+2.4%	
バス事業	316	318	+2	308	+3.1%	
タクシー事業	39	37	△2	37	△ 1.1%	
営業利益	169	180	+11	188	△ 4.7%	鉄道事業： 管理部門の費用分担減少による増
鉄道事業	150	161	+11	166	△ 3.2%	
バス事業	20	21	+1	24	△ 12.7%	
タクシー事業	△1	△2	△1	△ 1	+19.2%	

<鉄道事業 主な営業費>

(単位：億円)

	期初予想	修正予想	増減額
人件費	204	204	△0
電気動力費	50	49	△0
修繕工事費	61	59	△1
固定資産除却費	10	11	+1
減価償却費	170	171	+0

<鉄道事業の輸送人員・旅客運輸収入の内訳>

(単位：百万人)

	輸送人員				
	期初予想 ①	修正予想 ②	増減数 ② - ①	2024年度 ③	対前年増減率 (② - ③) / ③
定期期	231	231	+0	227	+1.7%
定期外	223	225	+2	218	+3.3%
合計	454	456	+2	445	+2.5%

(単位：億円)

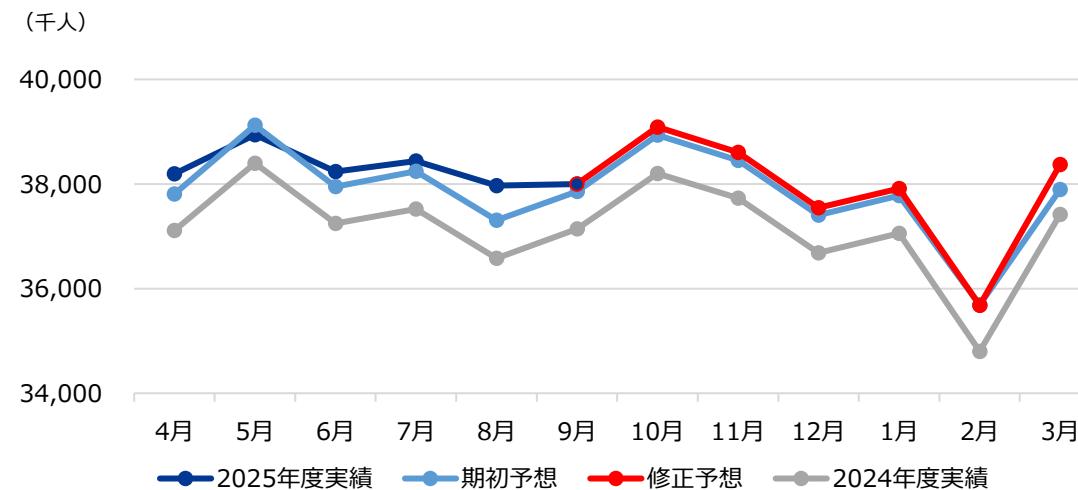
	旅客運輸収入				
	期初予想 ①	修正予想 ②	増減額 ② - ①	2024年度 ③	対前年増減率 (② - ③) / ③
定期期	294	293	△0	289	+1.6%
定期外	535	542	+6	525	+3.3%
合計	830	836	+6	814	+2.7%

<羽田空港2駅合計の輸送人員>

(単位：百万人)

	輸送人員				
	期初予想 ①	修正予想 ②	増減数 ② - ①	2024年度 ③	対前年増減率 (② - ③) / ③
羽田空港第1・第2ターミナル駅	42	43	+1	40	+7.4%
羽田空港第3ターミナル駅	14	14	△0	13	+6.5%
合計	56	57	+0	53	+7.1%

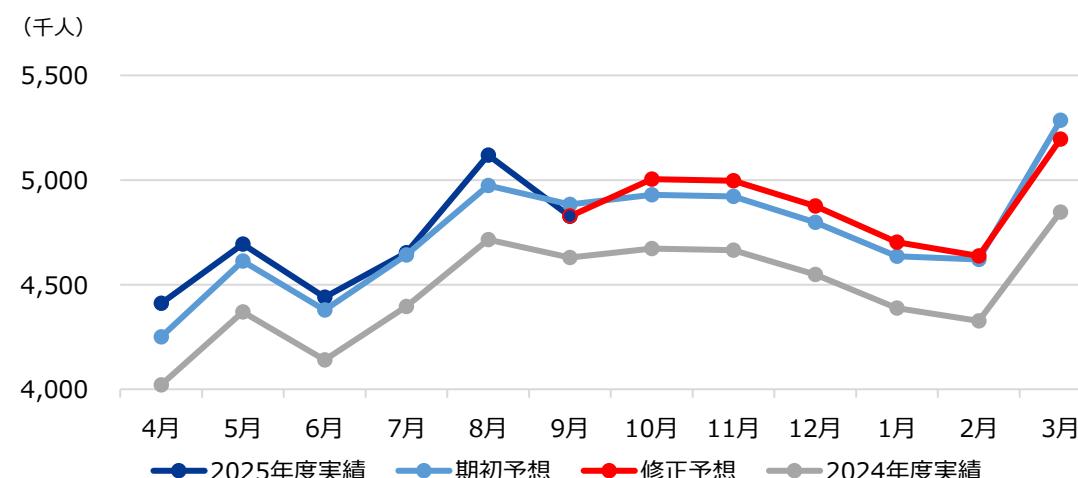
<全線輸送人員の予想推移>



<全線合計の予想（対前年）>

	2025年度 上期		2025年度 下期		2025年度 通期	
	期初予想	実績	期初予想	修正予想	期初予想	修正予想
定期	+1.5	+1.7	+1.5	+1.8	+1.5	+1.7
定期外	+2.3	+3.5	+2.3	+3.0	+2.3	+3.3
合計	+1.9	+2.6	+1.9	+2.4	+1.9	+2.5

<羽田空港2駅の輸送人員の予想推移>



<羽田空港2駅の予想（対前年）>

	2025年度 上期		2025年度 下期		2025年度 通期	
	期初予想	実績	期初予想	修正予想	期初予想	修正予想
羽田空港2駅	+5.6	+7.1	+6.4	+7.2	+6.0	+7.1

(単位：億円)

	期初予想 ①	修正予想 ②	増減額 ② - ①	2024年度 ③	対前年増減率 (② - ③) / ③	予想修正理由
営業収益	557	497	△60	539	△7.9%	不動産販売業： 賃貸オフィス売却時期の後ろ倒しおよび分譲マンション販売の進捗を踏まえた販売計画の見直しによる減
不動産販売業	357	294	△63	346	△15.0%	
不動産賃貸業	200	203	+3	193	+4.8%	
営業利益	61	48	△13	69	△30.7%	不動産販売業： 賃貸オフィス売却時期の後ろ倒しおよび分譲マンション販売の進捗を踏まえた販売計画の見直しによる減
不動産販売業	21	10	△11	28	△65.4%	
不動産賃貸業	40	38	△2	40	△5.9%	

<2025年度下期引渡し開始予定の物件>

	当社シェア	総戸数	引渡し開始時期
プライム東神奈川	100%	59戸	2026年3月
パークタワー大森	50%	98戸	2026年3月 (全戸契約済)

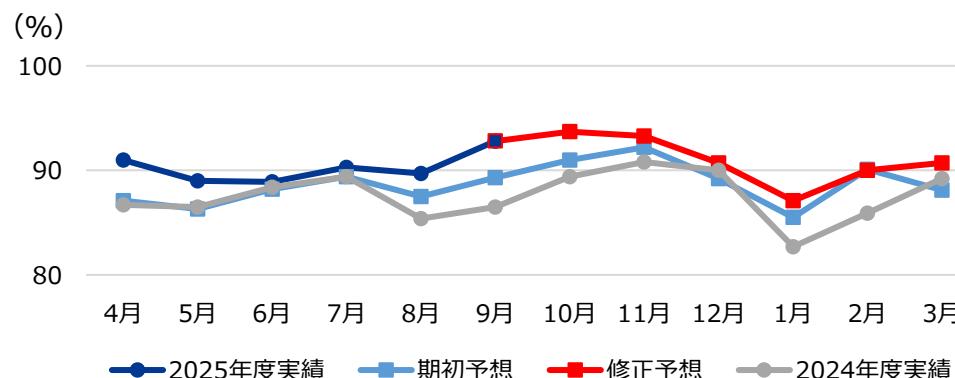


プライム東神奈川

(単位：億円)

	期初予想 ①	修正予想 ②	増減額 ②-①	2024年度 ③	対前年増減率 (②-③) / ③	予想修正理由
営業収益	327	332	+5	317	+4.7%	ビジネスホテル業： 稼働率予想：90.6% ※一部既存館の改修による閉館分を含むと83.8% ADR想定：対期初予想 約+5% ※前年6月 みなとみらい横浜開業
ビジネスホテル業	98	103	+5	101	+1.6%	
レジャー関連施設業	119	121	+2	116	+3.9%	
レジャーその他	110	107	△3	98	+9.0%	レジャーその他： 広告実施時期の後ろ倒し等による減
営業利益	37	45	+8	49	△9.0%	
ビジネスホテル業	10	14	+4	20	△32.7%	
レジャー関連施設業	19	22	+3	19	+11.8%	
レジャーその他	8	9	+1	8	+0.1%	

<京急EXホテル・京急EXイン 稼働率の推移（改修による閉館分を除く）>



	2025年度 上期		2025年度 下期		2025年度 通期	
	期初予想	実績	期初予想	修正予想	期初予想	修正予想
稼働率予想	88.0	90.3	89.4	90.9	88.7	90.6

※一部既存館（高輪、横浜駅東口）の改修による閉館分を含むと通期予想は稼働率83.8%

流通事業・その他の事業（業績予想）

KEIKYU

■ 流通事業

(単位：億円)

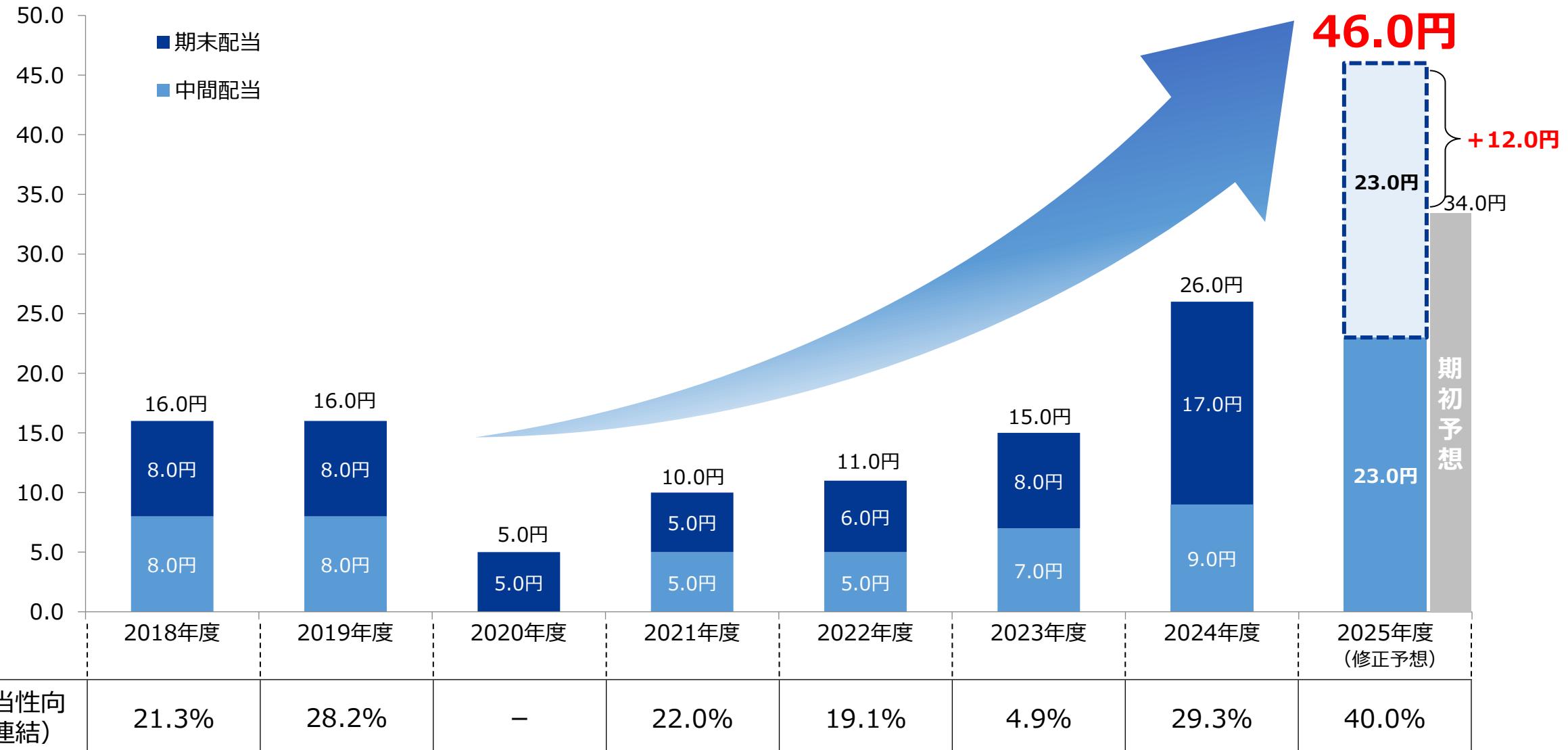
	期初予想 ①	修正予想 ②	増減額 ②-①	2024年度 ③	対前年増減率 (②-③) / ③	予想修正理由
営業収益	848	842	△6	812	+3.6%	百貨店・SC業： SC事業における新規テナント好調等による増
百貨店・SC業	163	163	+0	166	△2.0%	
百貨店業	118	118	+0	126	△6.5%	ストア業： SM店舗の一部閉店等による減
SC業	45	45	+0	40	+12.0%	
ストア業	685	679	△6	646	+5.1%	
スーパー・マーケット業	543	532	△11	500	+6.3%	
コンビニ・物販業(ほか)	141	147	+5	145	+0.8%	
営業利益	17	19	+2	20	△8.8%	
百貨店・SC業	8	9	+1	8	+0.7%	
百貨店業	2	2	+0	3	△33.8%	
SC業	6	7	+1	5	+18.3%	
ストア業	9	10	+1	11	△16.0%	
スーパー・マーケット業	2	3	+0	3	△13.1%	
コンビニ・物販業(ほか)	6	7	+0	8	△17.1%	

■ その他の事業

(単位：億円)

	期初予想 ①	修正予想 ②	増減額 (②-①)	2024年度 ③	対前年増減率 (②-③) / ③	予想修正理由
営業収益	527	542	+15	483	+12.1%	完成工事の増加
営業利益	24	26	+2	36	△ 28.7%	

当期純利益予想の修正に伴い、配当性向40%程度の方針に則り、配当予想を**12円上方修正**



配当性向 (連結)	21.3%	28.2%	-	22.0%	19.1%	4.9%	29.3%	40.0%
--------------	-------	-------	---	-------	-------	------	-------	-------



【ご注意】

この資料に記載の情報のうち、過去の事実以外のものは将来の見通しであり、発表時点において想定した各種前提条件を基に作成しております。こうした記載情報は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を含むものです。実際の業績は、様々な要因によって異なる結果となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

【お問い合わせ先】

経営戦略室 I R 担当

Tel 045-225-9396

E-mail ir-keikyu_t7z@keikyu-group.jp

インデックスへの採用状況



2025年8月初採用



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

2025 CONSTITUENT MSCI日本株
ESGセレクト・リーダーズ指数

